



ふらっとカフェ

flat Café

ふらっとカフェ
とは？

鳥取県人権文化センターが考案した対話型の人権学習です

参加者全員で1つのテーマ(問い)についてゆっくりじっくり対話し、学びを深めていきます。当センター研究員が進行役を務めます。「知らないことを新たに知る場」ではなく、知っている(と思っている)ことや当たり前だと思っていることを改めて問い直す場です。結論を出したり、合意形成したりする必要はありません。「考えること」、「探求すること」、その楽しさと難しさを味わいましょう!

当センター専任研究員を進行役として派遣します

地域や職場の研修でふらっとカフェを開催してみませんか?当センターの専任研究員を進行役として派遣します。事前に打ち合わせを行い、日程や参加人数、テーマ等について確認します。お気軽にお問い合わせください。

(参加人数等によってはご希望にそえない場合もあります。予めご了承ください。)

ふらっとカフェを
してみませんか?



おおまかな流れ

どうやってやるの？

- ① 進行役が趣旨とルールを説明。
- ② 各自が「ふらっとネーム」を考え名札を作って自己紹介。
- ③ 進行役がテーマを発表。テーマの設定理由について説明。
- ④ 発言したい人にコミュニティボールを渡してスタート。
- ⑤ 時間が来たら潔く終了。

少人数

参加者全員で対話をするため、4、5人～10人以下の少人数で行います。

時間

1時間半～2時間必要です。

進行役

参加者同士の対話を促進する進行役が必要です。進行役も対話に加わりながら、話の整理をしたり、学びを深めるための問いかけをしたりします。基本的に、当センターの専任研究員が進行役を務めます。

ルール

進行役がルールを提示します。例えば、

- ・いつもより少し大きな声で話そう。
- ・一人の話が長くなり過ぎないようにしよう。
- ・テーマを深く考えよう。
- ・他者の話をじっくり聴き、自分との共通点や違いなどをしっかり考えよう。

ふらっとネーム

その場限りの名前(自分が呼んでほしい名前)で呼び合います。これを、ふらっとネームといいます。ふらっとネームは、所属や肩書きに縛られることなく、また、「〇〇だから」と相手にレッテルを貼るのでもなく、対等な個人としてその場にいるための1つの工夫です。

飲み物とおやつ

好きな飲み物を飲んだり、おやつをつまんだりしながら、リラックスして参加してください。おかわりもご自由に。差し入れも大歓迎です！

テーマは1つ

参加者それぞれの意見を吟味しゆっくり思考を深めていくために、テーマは1つに絞ります。当たり前だと思いつていることやよく使う言葉、疑問に思っていることやタイムリーな話題等、じっくり考える機会にしましょう。

これまで実施したテーマ例

“笑い”と差別の境界線
 幸せの定義
 女子力って何？
 私らしさ!?
 「わきまえる」って何？
 部落問題が「自分事」になるってどういうこと？

等



ふらっとカフェ
flat Café

公益社団法人鳥取県人権文化センター

電話 (0857)21-1712 FAX (0857)21-1714
メール t-jinken@tottori-jinken.org (代表)【担当：中江】

